

「鳳輪・珠洲地域における復興工事災害防止講習会」を開催しました

建設業労働災害防止協会石川支部（自然災害関連工事石川安全衛生支援センター）では、令和7年3月14日、穴水労働基準監督署と共催で、建災防石川支部鳳輪分会において、「鳳輪・珠洲地域における復興工事災害防止講習会」を開催しました。令和6年能登半島地震復旧・復興工事や令和6年奥能登豪雨関連工事に従事される現場の安全担当者など24名の方に御出席いただきました。

鳳輪・珠洲地域における
復興工事災害防止講習会
2025. **3月14日(金)**
13:00-14:30 建災防石川支部鳳輪分会3階研修室



「労働災害発生状況から見る復興工事における労働災害防止対策のポイント」

講習会では、光谷穴水労働基準監督署長から、穴水署管内の災害発生状況について、令和6年の死亡災害件数は過去10年間で最多であること、死傷災害は他業種が減少する中で、建設業が突出して増加していると説明がありました。また、土木工事の災害は高年齢者が多く、死亡災害の割合が高い、建築工事では墜落・転落が大多数を占め、骨折等や頭部の障害が多い傾向にあり、これらの特徴に応じた対策が必要と指摘されました。

「復興工事に従事する作業員の安全衛生確保について」

その後、建災防事業部復旧・復興工事安全衛生対策支援センター中央指導員が、建災防で先般作成した「安全衛生の手引」（小冊子）を使用して、復旧・復興工事の安全衛生のポイントを説明しました。「安全衛生の手引」は、自然災害関連工事の特徴を踏まえて、労働災害防止上の課題ごとに留意すべき事項をイラスト入りで分かりやすくまとめたものです。HPからもダウンロードできます。

建設業労働災害防止協会では、自然災害からの復旧・復興工事や防災・減災工事に従事される建設事業者や作業員、発注機関や団体の皆様方を対象に、無料で現場パトロールや安全衛生教育を実施しています。お問合せ・お申込みは、各都道府県自然災害関連工事安全衛生支援センターまで御連絡ください。

